## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目款:農林水産業費 項:畜産業費 目:畜産振興費

# 事 業 名 岐阜県家畜育成牧場管理運営業務評価員会議運営事務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号:058-272-1111(内2876)

E-mail: c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

249 千円 (前年度予算額:

249 千円)

#### <財源内訳>

< \\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	H/ \ /									
				財	源	内	訳			
区 分	事業費	国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産収 入	寄附金	その他	県 債	一財	般源
前年度	249	0	0	0	0	0	0	0		249
要求額	249	0	0	0	0	0	0	0		249
決定額										

### 2 要求内容

#### (1)要求の趣旨(現状と課題)

平成18年度より岐阜県家畜育成牧場に指定管理者制度を導入し、同年6月に岐阜県家畜育成牧場管理運営業務評価員会議(以下「評価員会議」という。)を設置した。

評価員会議については、「岐阜県指定管理者制度運用ガイドライン」第7の2指定管理者に対する監督・評価の(3)専門家等による評価に定められており、会議を構成する評価員は5名で、牧場の利用者である農協や家畜診療所などの職員、財政状況を判断できる税理士が委員となっている。

#### (2) 事業内容

評価員会議の開催

指定管理者による管理運営状況を評価するために、それぞれの施設を熟知した専門家 等を評価員に任命し、意見を伺う機会を設ける。

この意見聴取のための会議は、管理の基準の充足状況、施設の設置目的の達成状況、 公共性の確保の状況、経営状況、派生的効果等を評価項目として、各対象施設及び指定 管理者において実施する。

## (3) 県負担・補助率の考え方

・県負担10/10 県ガイドラインに基づく会議開催のため

## (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費 (費用弁償)	103	飛騨牧場開催 38,019円 東濃牧場開催 32,224円 公社(岐阜市)開催 33,037円 計 103,280円
旅費 (業務)		飛騨牧場開催 9,737円 東濃牧場開催 9,772円 計 19,509円
報償費	126	10,500円×4名×3回 (5名中1名は市職員のため報償費不要) 計 126,000円
合計	249	

## 決定額の考え方

## 4 参 考 事 項

### (1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県指定管理者制度運用ガイドライン」第7の2の(3)

県は、指定管理者による公の施設の適正な管理に資するよう、原則として施設ごとに、 それぞれの施設を熟知した専門家等からの意見聴取の機会を設け、指定管理者による施設 の管理運営に対する評価についての意見を伺います。

この意見聴取のための会合は、少なくとも年2回以上開き、管理の基準の充足状況、施設の設置目的の達成状況、公共性の確保の状況、経営状況、派生的効果等を評価項目として、専門家等の見地から意見を伺うこととします。

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

□新規要求事業

■継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

## (事業目標)

何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県指定管理者制度運用ガイドラインに基づき、毎年、県営家畜育成牧場の適正な管理が行われているかを監督・評価する。

## (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
2						

## ○指標を設定することができない場合の理由

評価を行うための事務費であり、指標をもって成果を評価することが困難であるため。

### (これまでの取組内容と成果)

^	・取組内容と成果を記載してください。
令	
和	
2	
年 度	
度	
	令和5年度当初予算にて追加
令	
和	
3	
年	
3 年 度	
X	₩無① 口無 ·   安体 ·   安体 ·
	指標① 目標: 実績: 達成率: %
	令和6年度当初予算にて追加
令	
令 和	
4	
年	
4 年 度	
	指標① 目標: 実績: 達成率: %
	14

### 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している O:ほとんどない

2

岐阜県指定管理者制度運用ガイドラインに基づく業務であり、必要であ る。

- ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
- 3:期待以上の成果あり
- 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない
- 0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

監督・評価を行うことで、適正な県有施設の管理が図られる。

2

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

## (今後の課題)

事業が直面する課題や改善が必要な事項

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのよ うに取り組むのか

指定管理により牧場の管理委託を行う間は、継続して実施していく必要がある。

## (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	